

北九州おもてなしの"ゆっくりかいどう"

歴史、文化や美しい景色を"ゆっくり"味わう



江戸時代の街道の面影が残る木屋瀬・黒崎・小倉を通る長崎街道や門司往還、大正ロ マン漂う門司港レトロまでの沿線を対象とするルート。古くから本州やアジアの玄関 口として多くの人が行き交い、にぎわい、栄えた歴史が今も脈打っています。徒歩で 散策でき、歴史、文化や美しい風景を"ゆっくり"と味わえるのが魅力です。

見どころは、3つの宿場町・城下町や、その間にある史跡・旧跡、煉瓦建物や官営八 幡製鐵所発祥の地にまつわる近代化産業遺産、関門海峡や皿倉山のからの景色・夜景 等々。これらの地域資源を活用したイベントや伝統ある祭りなども盛んです。







活動のご紹介

風景街道 DAYs

北九州風景街道の魅力を紹介する「風景街道 DAYs」を開催しています。歴史ある風景を感じ るラリーやウォーキングツアー、知識を深める展示や講座など、工夫を凝らした様々なプロ グラムを提供しています。





歴史発見ガイト

北九州風景街道子どもウォーキング

小学生を対象に、「北九州風景街道子どもウォーキング」を開催しています。このイベントは、 子ども達が推進協議会の会員と共に、長崎街道や門司往還などのルートを歩き、道を通して 歴史や文化、自然について学ぶことで、大切な風景資源を後世に守り伝えていく人材として 育っていくことを目的に実施しています。

令和元年度には、「門司港さんぽみち調査隊」と題して、門司港エリアを歩きながら、近隣施 設にも立ち寄り、楽しく歴史や風景、文化を学ぶウォーキングを行いました。







記念撮影(JR門司港)

北九州風景街道フォト&スケッチコンテスト

北九州風景街道をPRするため、ルート及びその周辺を対象にフォト&スケッチコンテスト を実施しています。令和3年度からは、「フォト部門」「スケッチ部門」に加えて、新たに「イ ンスタグラム部門」も設け、応募作品の中から入賞者を選出しています。

また、入賞作品を掲載したオリジナルカレンダーを製作するなど、風景街道の更なる魅力発 信に取り組んでいます。



入賞作品(令和3年度スケッチ部門)



北九州風景街道「ゆっくり歩き帖」

推進協議会の会員が協力して制作したまちある きマップ「ゆっくり歩き帖」が完成しました。 ルートの魅力を知ってもらうべく、沿線のおす すめ撮影スポットや立ち寄りスポットなどを紹 介しています。



さんぽみちMAP(門司港地区)

会員相互の交流・連携

会員の集まりとして総会・分科会等を開催してい ます。さらに会員相互の情報交換のために、皆様 の活動や推進協議会の取り組みを紹介した「かわ らばん」を年1回発行しています。

このような交流・連携は、風景街道活動の大きな 柱となっています。



総会で会員間の交流を図る



ちょっとよりみち 唐津街道むなかた

旧唐津街道になつかしいまち並みが印象的



筑前二十一宿の一つ「赤間宿」、緑と昔ながらの民家が美しく調和する「原町」を約5 kmで結ぶ「旧唐津街道」ルート。辻井戸や造り酒屋をはじめとする大きな商家等、江 戸時代の建物が続く「赤間宿」地区、「まちづくり協定」に基づいた建物の修景が行われ、 古民家の景観が保たれた「原町」地区と、まさに昔の風情がこよなく残っており、ゆっ くりと散策しながら、まちの魅力を楽しむことができます。また双方とも美術が盛ん で、個人美術館やギャラリーが街道沿いに点在。「赤間宿まつり(2月)」、「九州大道 芸祭り(11月)」等、様々なイベント多彩。







活動のご紹介

まちなみの保全活動

旧唐津街道には、田園風景に囲まれた昔ながらのまちなみが残っています。このまちなみを 後世に継承するため、地域ルールや古民家の活用方法を提案し、多面的な保全活動を行って います









修譽事業(原町地区)

地域イベントへの参加支援活動

「九州大道芸まつり in 宗像」(11月)・「唐津 街道赤間宿まつり」(2月)等、地域のイベ ントへの参加や支援活動を実施。この機会に、 回遊ルートの案内を含めたパンフレットや瓦 版を発行しています。







散策のしくみづくり

街道本来の機能である人が歩いて行き交う場の再生を目指して、観光ボランティアによるガ イド活動や案内板・誘導サインを設置する等、訪れる人が楽しみながら散策できる仕組みづ くりに取り組んでいます。

「オリジナルパッケージのお菓子」の製作や、市内を巡る「宗像周遊マップ」の増刷・ 配布、観光拠点施設「赤馬館」での街道紹介など、ルートと観光施設等との連携も図っています。









津街道 赤間宿 atsu Road Akamashuku

誘導サイン

当ルートの拠点である赤間・原町においては、九州風景街道に 登録される以前からまちづくり活動を行ってきたが、「ちょっ とよりみち唐津街道むなかた」として九州風景街道に登録され たことで取組みの幅が広がり、交流人口も増えてきた。今後は、 赤間・原町がつながる活動を展開し、両地域に賑わいがでるよ うな取組みを行っていきたい。

唐津街道むなかた推進協議会 会長 梅田芳徳さん



よりみちコース

ルート名にある"ちょっとよりみち"にちなみ、散策ルートと併せて周辺エリアには「よりみ ちコース」として、歴史を感ずるコース・大島歴史遺産コース・自然満喫コース等、よりみちの楽しさをご紹介しています。







豊の国歴史ロマン街道

一小倉・足立山から宇佐の森へ一



北九州市小倉北区小倉城下の常盤橋から国道 10 号沿いに南下し、旧中津街道を経て大分県下・宇佐神宮に至るルート。沿線には、小倉足立山麓の和気清麻呂公の史跡・妙見宮、古墳時代前期の石塚山古墳や御所ヶ谷神籠石等の古代遺跡、樹齢 1900 年の本庄の大楠(国の天然記念物)、戦国期秀吉の軍師黒田官兵衛の居城・中津城、そして幕末・明治の思想家・教育者福沢諭吉の旧居、全国 4 万余の八幡宮総本宮・宇佐神宮など、多くの歴史・文化・自然が存在。毎年、春と秋に開催の「史跡探訪ウォーク」には、この街道の歴史ロマンを求めて、多くの市民が参加しています。







活動のご紹介

「中津街道で町おこしを」シンポジウムの開催

江戸時代、豊前国の城下町であった小倉と中津を結ぶ「中津街道」を地域おこしに活用できないか考えるシンポジウムを開催しました。このシンポジウムは街道沿いに残る宿場町の町並みや史跡などを市民に知ってもらうことで、自治体の壁を越えた広域的な PR活動につながるよう企画しました。会場からは「歴史を生かした地域おこし自体には金や雇用を生む力はないが、その一助にはなる。歴史を掘り下げることは無意味ではない」との意見が出るなどルートー体となったイベントや PR活動の必要性を参加者全員で確認しました。





■標柱の設置

「豊の国歴史ロマン街道」と小倉〜宇佐 間の歴史的建造物や自然遺産を地域の 方々にもっと知ってもらうために、標柱 を設置しています。

これまで平成 23 年から計 14 箇所の標柱を設置し、来訪者のルート散策の目標地点として好評を得ています。当初、設置期間は 10 年とされていましたが、地元関係者の協力のもと、設置期間をさらに10 年延伸することになりました。







子供神楽「あだち」

伝統文化伝承の一環として、毎年4月北九州市小倉北区の妙見神社で妙見宮桜まつりとあわせ、 足立山麓文化村制作の子供神楽「あだち」が行われます。 地元の小学生が華麗な舞を披露し、 毎年多くの方々が観覧しています。





■ 史跡探訪ウォークとバスハイク

毎月第2日曜日に小倉北区の紫川にかかる常盤橋を起点とし、和気清麻呂公に由来する足立 山麓を経て、行橋市、中津市、宇佐市の宇佐神宮まで街道を歩き、歴史景観を訪ねています。 また、歴史講演会の開催や年に2回バスハイクなども楽しんでいます。







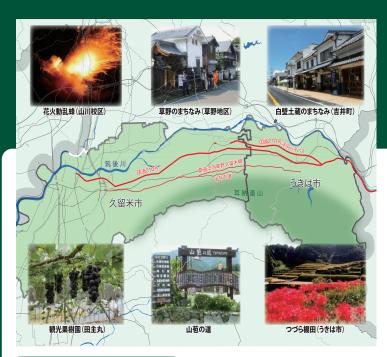
私たちは、旧豊前国の小倉から宇佐までに現存する歴史景観と自然遺産を保存し、広く知ってもらうために風景街道活動を続けています。 当街道には、和気清麻呂・菅原道真・黒田官兵衛・福澤諭吉の史跡があり、この歴史の共通認識に立って、地域間の連携を深めます。 さらに東九州道の開通に伴い、当地域への観光を広めるなど、北九州一大分間の発展に寄与していきたいと思います。

豊の国風景街道推進協議会 会長 北村 速雄さん



みどりの里・耳納風景街道

耳納連山と大河筑後川が織りなす「里の風景画」



大河筑後川に囲まれ、東西に走る旧街道日田往還等を軸として、自然と歴史・文化に育まれてきたルート。耳納連山から筑後川へと広がる空間が東西に延びていく情景は、まさに自然の回廊。今も古代の王の墓、吉井町の白壁土蔵や、草野町の風情あふれるまちなみが当時の面影を偲ばせます。この地域は、植木・苗木や果樹の生産も盛んで、久留米つばき、久留米つつじ、巨峰が有名。そして約400年前より続く棚田等、代々受け継がれた文化的遺産や祭りも多く残されており、訪れる人々をこよなく魅了してやみません。

南には屛風のように連なる耳納の山々と、北には豊かな水が流れる九州一の

■ 風景街道を活かしたイベント開催

「風景街道よりみちどころ」の各協力店が考案したジェラートをはしごしながら楽しむ「ジェラート総選挙」を開催しています。 その他にも、「耳納風景街道サイクルスタンプラリー」や、人留米市草野町の歴史・伝統文

その他にも、「耳納風景街道サイクルスタンプラリー」や、久留米市草野町の歴史・伝統文 化を紹介する「草野まちかど博物館」を開催するなど、風景街道を活かした多様なイベント を展開しています。



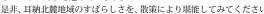




活動のご紹介

■ 散策ルート作り…久留米市東部地域

耳納北麓5校区(山川・山本・草野・竹野・水縄)のまちづくり振興会は、 久留米市と協働して地域の歴史・文化等の資源と併せて、自然環境に 恵まれた花や緑、里山、展望スポット等、点在する魅力ある資源と地 域の特性や季節の魅力を活かした散策ルートづくりを行っております。 耳納北麓を現在、東西に繋ぐ、幹線ルート約20km及び校区の魅力ある るルートづくりを進めています。



推進協議会の設立当初から、「みどりの里・耳納風景街

久留米市東部~うきは市までが掲載された便利なマップ

には、「風景街道よりみちどころ」など、地元がおスス

メするお店や施設などの情報が盛りだくさんです。

道マップ」を製作・配布しています。



「道」を中心として 美しい風景を見つめ直す日本風景街道

■ 伝統を守り、語り継ぐ

久留米市東部の祭りや伝統行事を継承するため、各種行事を心地よく行うための活動を行っています。

〈花火動乱蜂〉・・・久留米市

花火動乱蜂の地響きがするほどの迫力や、観客の耳目を奪う色彩・轟音は、一見の価値アリ です。花火動乱蜂保存会では、毎年9月15日の開催に向けて、夏の暑い中、汗を流しなが ら地域のみなさんと草刈りなどを行い、花火点火場所の管理等に取り組んでいます。





〈柳坂ハゼ祭り〉・・・久留米市

柳坂曽根のハゼ並木の紅葉時期 (11 月下旬頃) に「柳坂ハゼ祭り」を毎年開催しています。 柳坂ハゼ祭り実行委員会では、地域のみなさんと一緒に、紅葉見物の観光客の受け入れ案内 や、ハゼ並木の保護・木育、環境美化等に取り組んでいます。





■ コスモスで訪れる人をおもてなし (国道 210号コスモス街道)・・・うきは市

みどりの里・耳納風景街道マップの製作

国道 210 号パイパスの沿道、約3kmの中央分離帯にコスモスを植栽。この活動によりゴミの投げ捨てが減少し、景観づくりに貢献しています。







千年地区自治協議会では、校区内を東西に走る国道 210 号バイパス沿 い約3 キロに渡ってコスモスを植栽しています。うきは市を訪れる 方々へのおもてなしの心で始めた活動で、2018 年で 19 年が経過しま した。コスモスが満開になる 10 月には、地元の小学生とともに「福祉・ コスモス祭り」を開催しています。

みどりの里・耳納風景街道推進協議会 会長 家永 重信さん

■地域資源を守り、育む

<つづら棚田>・・・うきは市

「つづら棚田」は、日本棚田百選にも選ばれた貴重な棚田であり、彼岸花の咲く頃には、山村の原風景を求めて多くの方が訪れます。近年、耕作されていない棚田の存在が問題となっている中、近隣の有志で結成された「つづら棚田を守る会」は、棚田オーナー制度や彼岸花めぐり等の支援活動に協力し、景観を守る活動を行っています。







玄界灘風景街道

fukuoka

都市の楽しさや歴史、大陸とのつながりが、新たな歴史をきづいていく〜福岡・糸島・唐津ルート〜



大陸文化が玄界灘を経て、日本各地に広がった国際的舞台のルート。車で2時 間ほどの距離に、「近代的な都市の楽しさ」「歴史の深み」「個性的な文化」「豊 かな自然」があふれており、主に「福岡・博多(福博ゾーン)」、そして「糸島・ 唐津地区(海浜ゾーン)」が、コントラストな魅力で展開。なかでも一押しは、 ショッピングやオフィスビルの博多・天神そして百道。さらに糸島から唐津へ の街道では、芥屋の大門や二見ケ浦、鏡山から見下ろす延長 5 km・100 万本の 黒松が群生する日本三大松原の一つ虹の松原、七ツ釜等の海岸景観も絶景。さ らに伊都国遺跡・名護屋城跡などは歴史ファンも必見。







活動のご紹介

ごみゼロ青春探検隊 いとしま

自分の住むまちや道路を、自らがきれいすることを心がけ、地域の方々がすばらしい糸島 の環境を守り、未来につないでくれる呼びかけをしています





できることを、無理せず、楽しく、仲良く、いきいき続ける。 小さな行動「糸島から」今日始めて、明日に繋ぎ拡げましょう。 「糸島の自然環境は素晴らしい」その自然環境・道路美化が汚染傾 向にあります。自分たちの住むまち、道路・公共施設など自らき れいにする心がけ、みんなが気持ちのよい緑豊かな・自然環境・ 道路環境を守り続け、未来に繋げるために、ごみゼロ点検・クリー ン・花いっぱい(花暦)活動を通じて、住みよいまちづくりを目 指します。

ごみゼロ青春探検隊いとしま 呼びかけ人 酒井 忠彬さん



歩く唐津街道の旅

平成21年2月から始まったこの活動の登録者が今でも増え 続け、令和3年度には約8,000名にまで達したことはとて

もうれしいです。しかし松原はとても広く、全体を白砂青

松にするには、25,000人の協力が必要です。楽しく継続で きる仕組みを構築しながら、地域の皆様とともに、これか らも地域の宝を守り伝えていきたいと思っています。

NPO法人 唐津環境防災推進機構(KANNE)

街道歷史遺産の発見・発掘・学習や、参加者と宿場町との交流、健康増進などを目的に、旧 街道を探索するウォーキングイベントを毎月開催しています。平成21年からスタートした この取り組みに、令和2年度現在までに延べ3,200人が参加しました。

事務局長 藤田 和歌子さん

唐津湾沿岸約5kmにわたって広がるクロマツの林で、貴重な「宝」である虹の松原を白砂青 松の姿で後世に引き継ぐため、地域・企業・行政が一体となって、再生・保存のため松葉か

また、ルートの魅力を広く知ってもらうために、歩数計アプリと連動した企画を考えたり、リー フレットや参加グッズ(記念タオル・通行手形・ステッカー等)を充実させるなど、様々な 工夫を凝らしながら活動を展開しています。







広報資料(リーフレット・メダルなど)

まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会







今から 10 数年前、韓国のある大学教授から武寧王加唐島生誕説を 支持する論文が発表されました。これを契機に加唐島島民を中心と し、地元では、更に日韓交流を深める機運が高まり、その中の団体 の一つが、「まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会」の前身で ある「武寧王交流唐津市実行委員会」です。今日まで、加唐島での 「武寧王生誕祭」、韓国公州市での「百済文化祭」のツアー実施、小 中学生によるホームステイ相互派遣など、日韓交流による島づくり などの活動に取り組んでまいりました。

まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会 会長 宮崎 卓さん

広報活動の更なる充実

ルートの広報活動の一環として、令和2年度から唐津街道沿いでの案内標識の設置を進めて います。関係行政や他の風景街道ルートなどと連携・調整を行いながら、令和 2 年度には計 6か所、令和3年度には計4か所への設置が完了しました。





唐津街道標識設置事業





島原半島うみやま街道

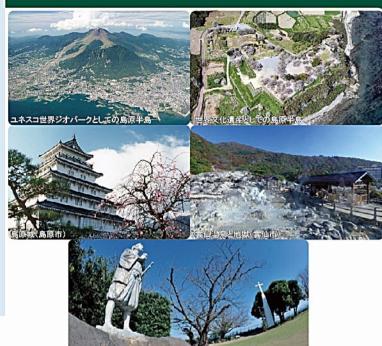
長崎 nagasaki

歴史と水と温泉のまち



日本風景街道「島原半島うみやま街道」は、長崎県の島原半島全域を エリアとし、国道57号、251号、389号、全長約194kmを 主なルートとしてします。

島原半島は、中央部に雲仙普賢岳及び平成新山が聳え立ち、東は 有明の海、西は夕日が映える橘湾、北側は干潟の諫早湾と周囲を 海に囲まれており、自然豊かな景観を楽しむことができます。



活動のご紹介

■ 雲仙100年の森づくりの会

雲仙普賢岳の噴火災害で森が焼失したが、当時は、死者 が出たり、避難生活を強いられている人たちの事を考える と、森の復元など口に出す事さえ出来ない状態だった。

しかし、焼失した森を復元したいとの思いから、警戒区域が解除された平成8年から、種を拾い、苗木を育成し、植樹活動を展開。一粒の種から景(森)づくりに取り組んでいます。また、災害の教訓を植樹を通して継承しています。



南島原ガイドの会 有馬の郷

南島原ではキリスト教の伝来、繁栄、弾圧と3つの時代を 見ることができます。「史跡ガイド」や「まち歩きガイド」など 歴史に詳しい方も少し苦手な方もお客様のご要望に応じ て地元ガイドがわかりやすくご案内します。



■ 島原半島ジオパーク協議会

島原半島にある「地域の遺産」を未来に引き継ぐための持続可能な地域社会の構築に向け、ジオサイトの保全及び管理、ジオツーリズムによる持続的な地域振興の推進、学校教育及び生涯教育における地球科学教育の推進など、様々な分野で取り組みを行っています。







■「道の駅」みずなし本陣ふかえ

平成11年に雲仙普賢岳噴火の地域災害復興の拠点としてオープン。土 石流で流された家屋を保存展示した「土石流被災家屋保存公園」や、団 体客向けいも負事を提供することができるレストラン、島原半島の特産 品を中心におみやげ品がズラリと並んでおり、休憩や観光スポットとして 賑わいを見せています。

■ 島原半島全域での一斉清掃

観光客に気持ちよく島原半島を観光・体感してもらうため、パートナーシップ構成団体等が同時参加できる一斉清掃イベントを島原半島全域で毎年開催しています。

一斉清掃イベントは、ながさきサンセットロードと共に同時開催しており、 その他にも長崎文化放送(NCC)が企画する「NEXTながさき☆ごみゼ ロプロジェクト」と連携するなど、PR効果を高め、ルートの認知度向上を 図っています。



島原市長浜海岸では、伝統漁法であるスクイ(遠浅の海岸に石を積み、湖の干満差を利用して魚などを獲る漁法)の体験イベント「スクイまつり」が開催されています。イベントを主催している「スクイを造ろう会」はパートナーシップ構成団体でもあり、海岸周辺の清掃活動やスクイの修復作業など、スクイを次世代に残し伝える活動を行っています。











ながさきサンセットロード

~橋でつながる教会と歴史の道~



長崎県西海岸沿線の松浦市、平戸市、佐世保市、西海市等を通って長崎市に至るルー ト。本土最西端の海岸線、総延長 280 ㎞を北から南まで走るため、どこからでも西 の海に沈む美しい夕日や西海橋・平戸大橋など、橋の造形美を存分に楽しむことが出 来ます。また、数々の教会が点在しキリスト教の伝統を色濃く受け継ぐ「ながさき巡 礼」ルートとも重なり、「夕日と橋と教会が織りなす美しい風景と海外の交流文化」が、 目に、こころに広がります。また平戸ひらめ・松浦のふぐ・長崎のからすみはもちろ ん、佐世保バーガー・長崎ちゃんぽん等、さまざまなグルメも見逃せません。







活動の紹介

観光ボランティアガイドの育成

ロゴを活用した広報活動の展開

ルート沿道の観光ボランティアガイド の活動が充実しており、講習会などを 各地で開催。



広報活動の一環として、ルートのロゴを

用いた案内標識の設置や、ステッカー・ マグネット・マスクシール等の製作を行

い、ルートの認知度向上を図っています。



観光ボランティアガイドが活躍しています

眺望スポットの環境整備や沿道の魅力発信

ルート沿いの眺望スポットを情報提供していただき、防草シー トや簡易パーキングの整備を行っています。また、来訪者に ルートの魅力を発信し、回遊してもらえるよう、みどころマッ プ等の製作やフォトコンテストの開催を行っています。





みどころマップ



このような整備を図ることで、少しでもサンセットロードの景観形 成に貢献し、「サンセットロード」という名称・ルートが世間に定着し、 サンセットロードを利用した活動が活発になり、地域が活性化する ことを期待しております。

長崎県 土木部 道路維持課

ルート沿道では、道路愛護団体による花植えや清掃活 動等が盛んです。

それぞれの団体が行政とうまく連携し、継続した活動 を実施しています。



長崎県北西部、西海市大島町で清掃活動を続けており、「町に 何か恩返しできれば」と考え大島町内のゴミ拾いをしたことか らスタートしました。最初は 1 人でしたが、自然とメンバーが増え、一緒に清掃してくれる人数は今では 100 人以上。 大島町に来てくれた人たちがいい町だった、キレイな町だった

なと気持ちよく帰ってもらいたいと思って清掃活動に励んでお ります。

環境美化を考える会 代表 田口 昭子さん



『ながさきサンセットロードの日』-斉掃除イベントを開催

ルートの登録日である 11 月 26 日を『ながさきサンセットロードの日』と制定し、南は長崎 地区から北は松浦・平戸地区までの各地域(20 地区)で一斉清掃を行うイベントを毎年開催 しています

近年は島原半島うみやま街道と一斉清掃イベントを同時開催したり、長崎文化放送(NCC) が企画する「NEXT ながさき☆ごみゼロプロジェクト」と連携するなど、規模拡大による一層 の PR 効果、ルートの認知度向上に繋げています。







今後、ルートが一丸となった一斉清掃の回を重ねていき、よ り多くの参加者数が増やしていきながら、「ながさきサンセッ トロード」の一大イベントとして位置づけられればと思って NPO 法人道守長崎 村里 静則さん





あまくさ風景街道

美しいサンセットと南蛮文化やキリシタンの歴史を伝える街道



天草地域は熊本県の南西部に位置する島々で、周囲を東シナ海・有明海・ 八代海という3つの海に浮かぶ多島海である。美しい青い海に浮かぶ大小 さまざまな島や緑深い山々などが織り成す雄大な景観をはじめ、季節を問 わず一年中楽しむことのできるイルカウォッチング、南蛮文化やキリシタン の歴史を伝える施設などがあり、自然と文化に育まれた島となっています。 「あまくさ風景街道」は、その風光明媚な天草の海洋景観を走る道路の中で も、東シナ海・有明海側の「夕日」をキーワードにして、天草を代表する愛着 のある主要道路を結ぶルートとなっております。

■ 地域活性化・観光振興

天草の島々の多様な主体による協働のもと、個々の景観、自然、歴史、文化等の地域資源を生かした 原風景のさらなる質の向上を図る活動を展開し、 地域の活性化、観光振興に寄与します。

【観光振興事業】

年間を通して各種イベントの実施及びプロモーション活動として、テレビや雑誌媒体への広告活動を行い、観光客の誘客を図っています。また着地型観光の推進として、市内観光施設等の情報発信や観光ガイドの会との連携を図りながら、観光推進事業を行っています。



【観光ボランティアガイド事業】

歴史探訪ウォーキングの開催、富岡城清掃作業や 国道沿い花壇手入れ・景観つくりを行っています。 また、会員の研修や募集を実施しています。

歴史探訪のオーキング (国際寺)

活動のご紹介

■ 美しい天草の街道づくり

天草の美しい海洋景観や風光明媚な漁港や島々を走る海沿いの国道を日本風景街道と位置づけ、景観維持に努めながら、花等の植栽、美化活動をとおして、美しい天草の街道を削成します。

【ボランティア花壇事業】

天草市看餅前至中地区の国道324号沿線にある植樹帯及び民有地に季節の花を植栽し、観光 客などへ花によるおもてなしを行っています。

また、花の植栽以外にも、特定外来生物とされている「オオキンケイギク」の駆除など、地域が一体となって国道沿線の良好な景観の形成に寄与しています。

平成24年度からは、天草市・上天草市・苓北町の2市1町で主要道路を中心に、一斉除草のボランティア活動を展開しています。一斉除草を同日実施することで、美しい道路景観に対する機運醸成を地域全体で育むとともに、観光客へのおもてなしの取組へと発展しています。

なお、活動については県のロード・クリーン・ボランティア事業及び天草花咲プロジェクト事業からの支援を活用しています。





【花づくり教室事業】

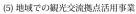
地域からの花づくりの普及・啓発、人材育成・技術支援を目的に、天草市と各町公民館・地区 振興会及びボランティア団体等との協働により、年3回程度、花づくり教室を開催しています。 併せて、道路沿線の花壇を地域で維持管理することで、自主的な花づくり活動を推進していま す。





【観光拠点の整備事業】

- (1) 夏中心型観光から通年観光への転換
 - ①着地型観光商品開発事業
- ②冬の天草魅力創出事業 (イルミネーションや食のイベント開催)
- ③交流人口拡大事業
- (サンドアートフェスティバル、ロマンティック
- ファンタジー等) ④インバウンド対策事業(外国人観光客の誘致等)
- ⑤修学旅行誘致促進事業
- ⑥食の天草満喫プロジェクト
- (2) 天草ファン・応援団(リピーター)の創造 ①島民総おもてなし運動展開事業 ②天草おもてなし充実事業
- (3) 観光ニーズに応じた情報発信③ガイドブック制作事業
- (4) 広域観光拠点化充実事業 本渡港・牛深港・鬼池港など交通結節点のイン フォメーション機能の充宝を図り観光客の利便
- フォメーション機能の充実を図り観光客の利便 性の向上に努めます。



観光まちづくりの取組が始まっている地域において、観光客と地域住民が交流することで観光客の満足度の向上と地域の経済効果が得られるように、地域での交流拠点施設として活用し、PR等を支援します。



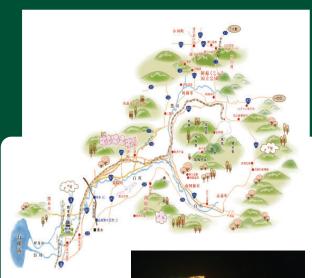




九州横断の道阿蘇くまもと路



世界一のカルデラ阿蘇を背景に大草原が広がる街道



世界最大のカルデラ火山で有名な阿蘇と築城 400 年、名城熊本城の熊本市街までを結ぶルート。かつて加藤清正が造った「豊後街道」の道筋であり、熊本と大分の鶴崎を結び、江戸時代細川藩の参勤交代路として利用されました。街道のシンボル阿蘇の雄大な自然の風景、ことに大パノラマ「大観峰」「草千里ヶ浜」は、必見の国際観光エリア。また黒川温泉・内牧温泉・地獄温泉等、良質の温泉郷としても知られ、白川水源等の名水もあり、世界各国からの観光客を魅了しています。本ルートも「九州横断の道 やまなみハイウェイ」同様、「ゆっくり寄り道ツーリズム」の活動がさかん。





活動のご紹介

野焼き

九州一の観光地阿蘇の景観の魅力は、広 大な草原で野焼きと放牧により、多くの 人々の手で守られてきました。阿蘇の野 焼きは面積 16,457ha、延焼を防ぐ輪地 切りの総延長は540kmに及ぶことから、 1年の大半をかけて野焼きボランティア の育成、準備としての輪地切り、野焼き を行っています。



■旧大津街道のハゼ並木の保存

旧国道 57 号沿い、熊本市龍田 町弓削校区を通るハゼ並木道(旧 大津街道) は、江戸時代、赤穂 浪士 47 名のうち、17 名が沙汰 前に肥後細川藩預けとなり、手 厚い処遇を受けたことに感謝し て藩に贈ったもの。清正公の杉 並木とともに、大津街道をそうで す。そのハゼ並木の保護と景観 美化を目的に活動しています。



九州横断(豊後街道)徒歩の旅

九州横断(豊後街道)徒歩の旅は、大 分県鶴崎から熊本県の熊本城まで31 里、約125kmを6泊7日かけて歩く旅。 毎年夏休みに行われ、子どもたち200 名ほどと学生ボランティアを含め、 250名以上の現代の参勤交代の志士た ちが、旧豊後街道を歩き続けます。



地域資源を活かした寄り道ツアー

誰もが旅を楽しむことのできる「ゆっくり寄り道ツーリズム」の創出を目指しています。 近年は、ルート沿線を歩き、その地域の歴史や文化に触れると共に、地域の魅力の掘り起 こしを行う寄り道ツアーを開催しています。

■ 多様なボランティア活動

道守くまもと会議による花壇づくりや清掃活動、竹田市岡城の石垣の草取り奉仕活動、瀬の本〜長者原間のゴミ拾い活動など、ルートエリアの美化活動を展開しています。加えて、近年は令和2年7月豪雨被災地(芦北町、人吉市、球磨村)における支援活動も行っています。

町屋の保存

熊本城は築城 400 年を迎え、完全復元に向けた整備が進行中。 それら城下町の風情を残そうと、 現存する町屋を保存し、活用す る活動が展開されています。



街道の起点となる熊本城下、自分たちの新町・古町に興味を持って始めた、マンションが林立する中での町屋の保存活用の取り組み。30代中心のメンバーが掃除や補修に汗をかき、賑やかに町に溶け込んでいく建物もあれば、解体される見事な梁を悔しさで見守ることも。今残るものを見直すことは今しかできない!今後もやります!

新町・古町町屋研究会 代表 宮本 茂史さん

■ やまなみハイウェイつながるひろがるプロジェクト

熊本県と大分県を結ぶ「やまなみハイウェ イ」を舞台に、道守・道の駅・風景街道の 3者が連携し、美しい景観を守るための美 化活動を展開しています。

また、やまなみハイウェイに関わる活動を 行っている方々が一同に集まり、やまなみ ハイウェイの未来を語り、連携強化を図る 意見交換会なども開催されています。





別府湾岸・国東半島海べの道



日本一の温泉と半島めぐりでリフレッシュ





東の大分市佐賀関から西へ別府湾岸を走り、世界農業遺産の国東半島の海岸線をぐるり と廻る美しい自然景観と、歴史・文化の魅力たっぷりなルート。「只今100匹」の野生 ニホンザルの高崎山、水族館「うみたまご」。世界有数の湯けむりの別府温泉とガイド の八湯ウォーク、城下町の風情を今に残す日出町と杵築市街。六郷満山の国東市に、真 玉の夕日と昭和の町・豊後高田市等、見逃せない観光スポット満載。さらに佐賀関の関 さば・関あじ、大分市内のふぐ料理、日出町の城下かれいと、「海べ」の名にふさわしく、 海の幸がいたる所に。大分県出身の歌手松原のぶえ・花岡優平の「海べの道応援曲・し あわせの旅路」にのって海べのドライブを。







活動のご紹介

みなとの賑わいづくり

NPO法人大分ウォーターフロント研究会が中心となり、 西大分地区で、「海辺のガーデニングフェスタ」「かんた ん海の大サーカス」「みなとのフードフェスタ」など年間 を通じた集客イベントを平成17年以降継続的に開催し ています。また当NPOは、設立以降、毎年「別府湾岸 官民交流会議」を主催し、みなとの賑わいづくりのため の提案を行ってきました。行政との意見交換を定期的に 開催し、官民共働のまちづくりを実践しています。



日本世間遺産学会

何気ないけれど感じ入る風景を「世間遺産」と称して、 大分県各地で世間遺産を巡るまちあるきを行い、撮影や 世間遺産を語り合う活動を行っています。「日本世間遺 産学会」は、令和4年度で第5回目の開催となりました。



道を通じた地域連携の発展 「道」を通じて地域づくりに貢献する日本風景街道・ 道守・道の駅が、三者のそれぞれの特性を活かし ながらも緩やかな連携によって、更なる地域貢献

また、海べの道 10 周年記念「別府温泉と風景街 道まちまち博」では、ルート沿線6市町の物産展 を地元デパートにて開催するなど、多様な地域連 携が進められています。

が出来ないかという方向性を話し合うシンポジウ

ム『語ろう!みんなで!「3つの輪」』を継続開催

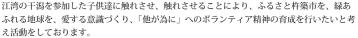
しています。

語ろうみんなで! 3つの輪 別府#温泉と風暑街道 まちまち博

清らかな水と美しい緑があふれる豊かな自然

私達のふるさと杵築市は、清らかな水と美 しい緑があふれる豊かな自然に恵まれてお ります。しかし最近では残念ながら多くの ゴミが散乱しております。杵築市のシンボ ルとも言える八坂川河口付近にも沢山のゴ ミ等が散乱している状態です。

杵築市のシンボルでもある八坂川を市民 一丸となり、きれいな元の状態に戻し、 戻す中もしくは戻す前での生態観察、全 国有数のカブトガニの生息地でもある守







■ サイクルツーリズムの推進

本ルートエリアでは、別府湾岸の景観を活かしたサイク ルツーリズムの活動に取り組んできました。近年は、瀬 戸内海を囲む愛媛・広島・山口・福岡・大分の5県が連 携し、瀬戸内海をめぐるサイクルツーリズムの更なる発 展に向けて、連携の取り組みを進めています。





九州横断の道やまなみハイウェイ

美しい日本の風景を取り戻す取組み



やまなみハイウェイ沿線は、「阿蘇くじゅう国立公園」に指定されており、城島高原・飯田高原等の大草原が広がり、岡城祉までの国道 442 号で結ばれた魅力的な風景のルート。別府温泉・由布院温泉・長湯温泉等、数々の温泉郷や絶景スポットで有名な九酔渓・九重 "夢"大吊橋、そして登山客に人気のくじゅう連山等、雄大な自然の連続。また「エコツーリズム」「温泉ツーリズム」「フォレストツーリズム」、高齢者や弱者の方々をはじめ、誰もが安心して楽しめる「ユニバーサルツーリズム」等、五感を活かした「ゆっくり寄り道ツーリズム」の創出にもご注目下さい。





活動の紹介

■ 阿蘇くじゅうの野焼き

やまなみハイウエイ開通時の美しい景観の復興をめざして、地域の生活と風景の関わりを見つめなおし、景観保存の担い手を育てながら、草原景観をはじめとする風景の保全活動を進めています。九重町では、住民が「野焼き実行委員会」を結成し、野焼きを復活させました。





■ 別府八湯ウォーク

別府八湯の魅力を、地元のまち歩きガイドが歩きながら案内するウオーキングツアーを実施。 ひっそりと、点在する別府の路地裏は、昔ながらの史跡が残る"まちごと博物館"です。





■ 国内外への積極的な情報発信

アフターコロナにおける集客拡大・地域活性化に 寄与するため、SNS 等を活用しながら、やまなみ ハイウェイ治線の自然景観の魅力を国内外に発信 しています。

令和3年度には、ルート沿線の魅力を紹介する英語版 Youtube 動画を制作しました。また、国際留学生や県外来訪者が参加するモニターツアーを開催し、ルートの魅力発見と SNS による情報発信を行いました。



国際留学生モニターツアー

■ 通り名で道案内

由布院・竹田地区では、観光ではじめて 訪れる方々のまち歩きをサポートするた め、「通り名」の入ったマップと通り名 の看板・石柱による道案内を設置。





■ やまなみハイウェイ沿線の環境美化活動

やまなみハイウェイ沿線の美しい自然環境・ 景観を守るため、環境美化活動を実施してい ます。別府IC周辺や九州横断道路沿線で清掃 活動及び花植え活動を行っています。

こうした環境美化活動を継続的に展開していくための方策の一つとして、やまなみポストカードの制作・販売にも取り組み始めました。



3つの輪による連携

「道」を通じて地域づくりに貢献する3つの輪(風景街道・道守・道の駅)の連携が進んでいます。令和3年度には湯布院に、第7回シンポジウム『語ろう!みんなで!「3つの輪』が開催され、緩やかな連携による更なる地域貢献や、やまなみハイウェイの未来などについて、パネルディスカッションを行

加えて、「やまなみハイウェイつながるひろ がるプロジェクト」も立ち上がり、やまなみ ハイウェイを舞台に、3つの輪の協働による 美化活動や意見交換会などを行っています。







私たちやまなみハイウェイ協議会では訪れる方々に楽しんで頂くため、 花植え活動や野焼、看板撤去などを行ってきました。現在は観光道路 としての眺望回複などを目的とした沿道にある人工林の整備や、高地 トレーニングのメッカである飯田高原でのマラソン練習コースの整備 に取り組んでいます。協議会としては関係機関に呼びかけ交渉を行う など、実現に向け動き始めています。

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会会長 高橋裕二郎さん



日豊海岸 シーニック・バイウェイ

大分 oita

浦々のふれあいでみんな元気!蒲江・北浦大漁海道

当阿 miyazaki



大分県佐伯市と宮崎県延岡市を結ぶ国道 388 号を中心に、複数の県道等にまたがるルート。海道の中心となる日豊海岸は、風光明媚なリアス式海岸が続き、緑豊かな山々と優しく人を迎える浦々等、多彩な自然と人々が息づく地域と言えます。また元猿海岸・下阿蘇ビーチ等、海を楽しむスポットが点在。ことにブルーツーリズムと食による地域づくりが盛んで、島や沿岸部に滞在し、ゆっくりとした休暇を過ごしたい方々におすすめ。豊かな海の恵みを楽しめる観光キャンペーン「東九州伊勢えび海道」(9 月~11 月)で、ぜひとも伊勢えびをたらふく召し上がれ。







活動のご紹介

■ のじぎく再生プロジェクト

たかひら展望公園の「のじぎく」は、佐伯市蒲江を代表する秋の風物詩ですが、一時期、鹿の食害や連鎖障害等で壊滅状態になっていました。そこで、地域住民と行政が連携し、平成22年度より「のじぎく」再生にとりくんでいます。また、平成29年度からは、「のじぎく」以外に新たに「フジバカマ」を植栽し小さな身体で1000km 以上も旅をすると言われる人気のチョウ「アサギマダラ」の飛来に成功しました。「のじぎく」と併せて訪れる人達に好評です。

「アサギマダラ」は10月に、「のじぎく」は 11 月から 12 月上旬頃まで楽しめます。



■「海の道」のリフォーム

快水浴場百選「海の部特選」に選ばれている下阿蘇ビーチは、全国で10か所選ばれた特選ビーチのひとつ。当研究会では"道守"活動の一環として、海開き前には清掃活動を実施しています。





■ 地域の資産 「おしなぎい(もったいない)」 の発掘と有効利用

来訪者はもちろん、地元の人々からも知られていない歴史、文化資源・自然資源等、おしなぎい魅力の 再確認を図っています。

近年は、波静かな入津湾に浮かぶ筏「渚の公園」が 設置され、魚釣り体験や伝統漁法のカゴ漁体験がで きるようになるなど、蒲江の地域資源を活かした体 験・学びのメニューがさらに充実しました。

【あまべ渡世大学】

本大学は、蒲江全体をキャンパスとした「体 感・学び」の場。講師陣は地元の人々が務め、 学生は県内外から訪れます。









■ 県境を越えた地域連携と情報発信

本ルート沿線にある、他に負けない豊かな自然の魅力を十分に発揮していくためには、個別に活動している人どうしが連携を図り、「人、モノ、情報」が道路を通じて循環していく環境づくりを削出することが大切です。

【日豊海岸岩ガキまつりと東九州伊勢えび海道】

風土が似ており、昔から水産業を通じて「ヒトとモノ」の交流があった日豊海岸沿岸において、春から夏は旬の「岩ガキ」 (日向市、門川町、延岡市、佐伯市)をターゲットに、秋は

「伊勢えび」(延岡市、佐伯市) をメインにグルメの取組を実施。 春、夏、秋と途切れることなく 旬の「岩ガキ」と「伊勢えび」 のグルメざんまい。リピーター が増加傾向です。





【様々な方法による情報発信】

日豊海岸ならではの魅力を凝縮したプロモーションビデオを 作成・公開しています。また、海道だよりの作成や各種 HP での情報発信などを行っています。



経済の低迷で、地域資源を活かした観光での地域活性を目指して 活動を始めました。

浦々の魅力を、ブルーツーリズムとして "話が得意な人" "行動で 示す人" "頭を使う人" 等それぞれが得意な分野で発信をしています。 これからは、平面的な観光に海(マリンレジャー)、空(スカイ スポーツ)等立体的な観光を推し進めていきたいと考えています。

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会 会長 橋本 正恵さん





日南海岸きらめきライン

住んでよし・訪れてよし 魅力ある日南海岸



宮崎市街から日南海岸沿いを県南へ続く青い空や海を背景に、亜熱帯植物がつくり出 す美しい風景が広がる日南海岸国定公園を中心としたルート。毎年春に開催される「ぐ るっと青島フラワーフェスタ」や、南郷の「ジャカランダまちづくり」等、花と緑の もてなしが魅力です。また、国の特別天然記念物の野生馬が生息する都井岬、青島神 社・鵜戸神宮・潮嶽神社に代表される神話ゆかりの地、江戸時代の町並みが残る飫肥 城下町等、この地域固有の風景が楽しめます。この地の最大の魅力は地域の人とのふ れあい。 訪れたら地域の人に声をかけてみると旅の楽しみ方が一つ加わるかも…。







活動のご紹介

うつくしの道づくり

花で地域を結ぶ一斉活動と道守活動 花で地域を結ぶ一斉活動として各地で多数の市民・町

民が参加して植栽活動を展開しています。 また、日南海岸きらめきラインのパートナ 多数加入されている「道守みやざき会議」は、毎年10 月を「宮崎県内道守一斉活動月間」と位置づけ、道守 活動を展開しています。



暖竹一掃大作戦

道路から海への眺望を確保するために、道路協力団体 制度を活用しながら、行政、企業、市民などが一丸となっ て「暖竹一掃大作戦」を展開しています。

暖竹や雑木の除去等を通じて、日南海岸ロードパーク の魅力向上に貢献しています。



暖竹伐採

神話・歴史の道づくり

神話伝承ゆかりの地みやざき

- トエリアには、日向三代の神話ゆかりの地が多く点在しており、現在も地域の語り部 によって語り継がれています。また、旧飫肥街道・旧鵜戸街道の調査・発掘・整備や、旧街 道を歩く旅企画などにも取り組んでいます。



神話伝承ゆかりの地に多くの人に訪れて もらい、我々地域がもてなすこによって 満足してもらい、また日南海岸きらめき ラインに行ってみたいと思ってもらえる よう活動に励んでいます。

> 鵜戸山をかっとしやる協議会 会長 長友 治さん





■ パートナーの連携・協働の強化

多様な担い手が共に学ぶ場として、全国で活躍する有識 者・専門家等を講師陣に迎え、「日本風景街道大学」を 宮崎大学にて実施しています。

日本風景街道大学 宮崎大学で開講

本大学のきっかけにより、広域的なネットワークを広げ、 一層の交流・情報交換を図りながら、風景街道活動の全 国的なレベルでの発展をめざしています。

また、行政職員を横断的につなぎ、共にバイウェイの使 い方などを学ぶ「日南海岸地域のバイウェイあり方勉強 会」も継続的に開催するなど、更なる連携の強化が期待





■ 日南海岸サイクルライン

日南海岸サイクルラインづくり

日南海岸きらめきラインの道は、温暖な気候に、美しい 風景が広がり、年間を通じてサイクリングを楽しむには

平成 27 年度には日南海岸サイクルツーリズムによる賑 わい創出を目的として「日南海岸サイクルツーリズム協 議会」が発足し、ツーリスト受け入れ環境の充実や自転 車通行空間の整備など、ハード・ソフト両面での取り組 みが進んでいます。

また、日南海岸サイクルラインでは、沿道の商店・道の 駅などと連携して、サイクリング休憩所(サイクルレス トよってね!)の設置を推進しています。その他にも、 サイクルツーリズム推進のためのイベント企画や協働の 場づくりとして「日南海岸自転車談議所」を開催するな ど、様々な取り組みを展開しています。



りんりんプロジェクト



サイクリング休憩所 共涌ロゴマーク



サイクリングコースマップ



かごしま風景街道

道路を軸にした「鹿児島らしい風景」



鹿児島のシンボル桜島から、錦江湾沿いの薩摩半島を巡り、南さつま市を結び、「桜島ルー ト」「鹿児島ルート」「指宿ルート」「南薩ルート」の4ブロックで構成。これらの地域 には、勇壮な桜島と開聞岳を代表とする山々と海岸が織りなす風景、西郷隆盛など明治 維新ゆかりの史跡が豊富な鹿児島市街、武家屋敷群や戦争遺産・文学遺産の知覧、指宿 の天然蒸し風呂を代表とする温泉群、吹上浜から望む東シナ海に沈む夕日等、まさに必 見です。そして芋焼酎はもちろん、さつま揚げ・きびなご・黒豚・カツオ等、おいしい グルメも盛りだくさん。







活動のご紹介

ルートの魅力を知るスタンプラリー

平成27年度の鹿児島国民文化祭の開催期間中に県内外の市民に PR するため、24箇所で 食文化スタンプラリーを実施しました。







かごしま風景街道を楽しむバスツアー

かごしま風景街道の魅力を広く知ってもらうためのバスツアーを開催しています。ルート 内の要所をバスで巡ったり、散策したり、地元料理を食べたりと、ルートの魅力を全身で 体感できるツアーを開催しています。

地域の歴史的景観についての勉強会

「まちづくり地域フォーラム・かごしま 探検の会」では、地域に残る歴史的景観 について学び、保存や活性化について考 える取り組みを実施しています。

史跡巡りのまち歩きや講座の開催をはじ め、子ども向けから大人向けまで、地域 の文化・歴史を伝えるための様々な活動 を展開しています。



風景街道の取組みを幅広い年代の方々にも体感していただこう と、小学生から高校生まで児童や生徒さんたちといっしょに、 まち歩きと意見交換を行いました。みなさん、それぞれに想い があって、道の楽しみ方と景観を守ることの大切さを共有して いました。風景街道は、みんなでつくりあげているものだと実 感しました

NPO 法人かごしま探検の会 代表理事 東川 降太郎さん



戦争遺産・文学遺産の保全と活用

桜島港近くに、旧日本軍が設 置した海軍特攻基地壕跡があ ることから、「戦争遺産」並 びにこの基地で終戦を迎えた 作家・梅崎春夫にまつわる「文 学遺産」周辺箇所の草刈作業





桜島にある戦争・文学遺産は、昔は地元の人に全く知られていま せんでした。風景街道の活動を通じて、地域資源の価値に気づき、 広め、活用できるようになったことは、とても素晴らしいことだ と思います。今後も地域の風景を保全・活用できるようにがんば りたいと思います。

NPO 法人桜島ミュージアム 理事長 福島 大輔さん

好ましくない風景の改善

「魅力ある指宿まちづくり協議会」は、交差点の景観整備のため、官民挙げて取り組み、「看 板撤去・景観修復」の啓蒙活動後、サインボードの設置・植栽が実施され、地区のシンボルゾー ンとしてリニューアルされました。





観光地・指宿の風景を守るために, 行政・民間団体, そして市民 が果たすべき役割を明確化し,乱立した看板撤去に取組みました。 無償・自費による全面撤去には、約1年の期間を要しましたが、 官民協働の取組みは、それ以降の観光行政の指針となりました。 今後もそれぞれの役割の中で、風光明媚な指宿の景観を守り続け

指宿市役所 観光課 観光企画室 元室長 今柳田 浩一さん





薩摩よりみち風景街道

鹿児島 kagoshima

藩政時代からの歴史遺産とダイナミックな自然景観が魅力的



藩政時代から、鹿児島県内は、歴史・文化の面で深く繋がっており、海岸道路の沿線は、武家屋敷や国分寺跡などの薩摩の歴史や文化を伝える名勝史跡が数多く残っています。また、地形の変化の美しい甑島、黒之瀬戸など日本三大急潮流の景勝地や東シナ海を背景にした「人形岩」や「ナポレオン岩」などのダイナミックな美しい自然景観も見ることができます。赤土バレイショ・養殖ブリ・みかん・芋焼酎・阿久根ボンタンなど特産品が豊かであることもこの地域の魅力。













活動のご紹介

■ 美しい薩摩の街道づくり

北薩地域の恵まれた自然景観を守る

薩摩の美しい海岸線付近を通る道路を風景街道と 位置づけ、美しい景観を維持しながら花の植栽、 清掃作業を行い、美しき街道を削成しています。 また、ルートの知名度向上に向けて案内立て看 を沿線に設置するなど、魅力ある地域資源をさら に引き立てる取り組みを展開しています。







■ 地域の活性化・観光の振興

薩摩の歴史的文化遺産などを活かす

薩摩の多様な主体による協働のもと、個々の景観や自然、 歴史、文化・交流、施設・情報などの資源を活かし、更な る質の向上を図る活動を展開しています。

近年は、長崎県や熊本県などの近隣のルートと勉強会を開催したり、北海道の「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」と共に歴史上の人物を切り口としたセミナーを開催するなど、他ルートとの交流も活発化しています。









観光資源間の連携

食・物の連携で観光の魅力を高める

これまでに整理されている資源に加え、他の観光 資源(飲食・物販)との連動によるまちあるき型 観光資源の発掘・開発をし、観光の魅力の向上に つなげています。







薩摩よりみち風景街道は、まさに南九州 西回り自動車道のバイウェイ、寄り道です。 過疎化が進むこの地域には、多様な観光資源やイベントがあり、それを担う人々がいます。5市1町という広域におよぶ薩摩の 西海岸周辺域を通る道路を風景街道と位置づけ、それぞれの資源同士のネットワーク 化を図ることで地域の一体感を創出し、多くの人々に訪れていただけるよう、温かいおもてなしの心を感じて頂ける風景街道に磨き上げます。



薩摩よりみち風景街道協議会 副会長 田島 直美さん